

科目名	キリスト教神学 I					単位	2.0
担当教員	西脇 純						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	4401

●授業のテーマ

キリスト教的なヒューマニズムおよび宗教文化の学び

●到達目標

イエス・キリストの生涯と教え、キリスト教の成立、さらには歴史上さまざまな形で花開いたキリスト教芸術などの概観を通して、キリスト教的なものの方の見方（人間観や世界観など）への理解が深まっている。

●学習内容(授業概要)

人間の文化的活動の根底にある宗教的ヒューマニズムを学ぶよすがとして、本講義では、特にキリスト教に特化し、イエスの生涯とその中心的な教え、キリスト教信仰の成立、さらにはキリスト教文化の諸例を紹介いたします。

●学習内容(授業計画)

- 1) はじめに／新約聖書とは
- 2) イエスの生涯 (1) ——時代および社会背景・宣教の旅——
- 3) イエスの生涯 (2) ——エルサレムでの最期の日々——
- 4) 原始キリスト教団（「ユダヤ教イエス派」）の復活信仰と新約聖書の成立
- 5) イエスの教え (1) ——3つの教えの柱——「神の国は近づいた」「律法主義を越えて」「互いに愛し合いなさい」
- 6) イエスの教え (2) ——大胆なことばで——「姦通の女の物語」
- 7) イエスの教え (3) ——たとえ話で——「善きサマリア人のたとえ」「放蕩息子のたとえ」
- 8) イエスの治癒行為——奇跡物語の語るもの——「目のみえない人の癒しの物語」
- 9) キリスト教文化に見る、聖書のメッセージ・建築編——教会建築小史（ザンクト・ガレン修道院ほか）
- 10) キリスト教文化に見る、聖書のメッセージ・音楽編 (1) ——キリスト教音楽小史（ルネサンスまで）
- 11) キリスト教文化に見る、聖書のメッセージ・音楽編 (2) ——キリスト教音楽小史（J. S. バッハまで）
- 12) キリスト教文化に見る、聖書のメッセージ・音楽編 (3) ——現代のキリスト教音楽
- 13) キリスト教文化に見る、聖書のメッセージ・絵画編——西洋宗教絵画小史・イコンの世界
- 14) キリスト教文化に見る、聖書のメッセージ——アシジの聖フランチェスコと聖人崇敬
- 15) まとめ

●準備学習・事後学習の内容

各回の授業でお配りする授業資料を参考にしつつ、学習内容を復習し、次回の授業に備えてください。

●成績評価方法・基準

授業参加度 75%（フィードバック・ペーパーの内容）、学期末レポート 25%により評価いたします。

- \* 出席者に毎回フィードバック・ペーパーをお配りし、次回の授業の冒頭に提出していただきます。
- \* 単位取得のためには「3分の2以上の出席」と「学期末レポートの提出」の両方が必要です。
- \* 学期末レポートの未提出は「試験欠席」となりますのでご注意ください。

●テキスト（必携）

毎回、講義の中で授業プリントを配布いたします。

●参考文献／その他

適宜参考文献をご紹介します。

●履修上の注意

授業中の私語と内職を禁止いたします。私語と内職は減点の対象になりますのでご注意ください。